

第二次霧島市総合計画(後期基本計画)施策評価シート

令和5年度

政策	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)	SDGs															
施策	2. 活力ある農・林・水産業の振興																

施策で目指す姿

- 農林水産業の生産性の向上や労働環境改善に対する支援を行い、担い手や新規就農・就業者の育成・確保に努めます。
- 農林水産業を支える生産基盤の整備・保全に取り組み、地域特性を生かした農山漁村の振興を図ります。
- 良質で付加価値の高い農林水産物の生産と消費拡大等を促進することで、農林水産業者の所得の向上と経営安定を目指します。

基本事業における成果・課題・改善策

1. 農林水産業の担い手の育成・確保	決算額(一般財源)	176,139千円 (176,139千円)
令和5年度の事業成果	令和5年度の事業課題(&変化した現状・課題)	令和6年度以降の改善策
<p>● 担い手経営発展等支援事業(47名に計45,774,000円を交付)や農業次世代人材投資事業等(新規就農者9名に計19,330,144円を交付)により、農作業の効率化や担い手の育成・確保を図った。</p> <p>● 認定林業事業体の技能習得研修や新規就業者への定住化促進の支援や高性能林業機械のリースの一部補助を行い、林業就業者の育成や支援を図られた。</p>	<p>● 多くの業種で人手不足となり人材確保が激しくなる中、従来から担い手の確保が課題であった農林水産業においては更に厳しい状況となり、新規就農者が減少し、担い手の高齢化が進んでいる。</p> <p>● 林業就業者による担い手不足や新規参入者が少ないことで、安定した雇用形態が構築されていない。</p>	<p>● 担い手経営発展等支援事業によって機械導入や施設整備を支援するとともに、農地の集約等を進め、生産性の向上を図る。</p> <p>● 森林環境譲与税を効率的に活用して、担い手の確保や新規就業者の安定した雇用を支援する。</p>
2. 生産基盤の整備と農山漁村の振興	決算額(一般財源)	762,190千円 (762,190千円)
令和5年度の事業成果	令和5年度の事業課題(&変化した現状・課題)	令和6年度以降の改善策
<p>● 中山間直接支払事業により耕作条件の不利な約355haの農地が荒廃することなく維持された。</p> <p>● 鳥獣被害防止総合支援事業で電気柵等を設置し、鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業では、有害鳥獣の捕獲を行い農作物への被害を防止した。</p> <p>● 多面的機能支払交付金事業により約2,006haの農地の多面的機能が維持・発揮された。</p> <p>● 森林環境譲与税の活用で間伐等の森林整備に関する支援や林道等の災害復旧により環境保全が図られた。</p> <p>● 水産業では、漁協が行う種苗放流事業等に対して支援を行った。</p>	<p>● 担い手の減少や高齢化等により荒廃農地が増加している。有害鳥獣捕獲隊についても高齢化が進み隊員の確保が難しくなっている。インシシ等に加えて、サルによる農作物被害も増えている。</p> <p>● 多面的機能支払事業の活動組織が高齢化等に伴い減少し、役員のなり手不足等による活動休止により農地の多面的機能の減少が懸念される。</p> <p>● 民有林の伐採後、天然下種更新による届出が多いため植栽が進んでいない状況である。</p> <p>● 稚魚の放流等を支援することで漁業振興に努めているが漁獲高は伸び悩んでいる。</p>	<p>● 来年度に中山間直接支払事業の第6期対策が始まるのに伴い、協定に対して補助を行い荒廃農地の発生を抑制する。</p> <p>● 有害鳥獣の捕獲報償費引き上げにより隊員の意欲向上を図りつつ、被害が増えているサルの生態調査を行って防止策を検討する。</p> <p>● 多面的機能支払事業組織内での資機材等の融通や活動参加組織等の拡大を推進する。</p> <p>● 再造林が進むよう所有者への負担軽減と林業事業体による植栽の推進を図る。</p> <p>● 水産資源の維持を図るため漁協が実施する人工イカ産卵床設置事業等を継続する。</p>
3. 農林水産業の稼ぐ力の向上	決算額(一般財源)	47,447千円 (47,447千円)
令和5年度の事業成果	令和5年度の事業課題(&変化した現状・課題)	令和6年度以降の改善策
<p>● 本市農畜産物の知名度向上を図るため、茶や和牛を中心に品評会や共進会への出品に取り組み、農林水産大臣賞など上位の賞を受賞した。また、農林水産物の販路拡大や地産地消の取組として、農業者や農業者団体等に対する補助、各イベント等の開催を行い、市民をはじめ県内外への農林水産物のPRに取り組んだ。「ゲンセン霧島」新規認定や再認定に向けた取組を観光PR課と連携して実施した。</p> <p>● 水産まつりにおいては、雨天により鮎の塩焼きコーナーやカヌー体験は途中中止になったが、鮎や岩ガキ、うなぎは完売するなど水産資源のPRが図られた。</p>	<p>● 市場価格の変動により、農業者等が経営を続けられるよう、収益の安定・向上やコスト削減に取り組むことが持続可能な農業の実現に向けて求められている。</p> <p>● 水産まつりで販売する水産物の確保や、イベント運営に携わる関係者の高齢化等により、今後のイベント継続について危惧する面がある。</p>	<p>● 令和7年度当初予算までに類似事業の見直し等を行った上で、「農業の「稼ぐ力」向上プロジェクト」を拡充し、より効果的に農業者の取組を支援できる補助制度を構築する。</p> <p>● 水産まつりを今後も継続的に運営して行く上で、内水面及び海面漁協が中心となる体制づくりやそれに応じたイベント規模が必要である。</p>

施策の進捗状況

KPI (重要業績評価指数)	測定方法	実績値	進捗率	実績値の検証
		目標値	方向性	
6. 農林水産業の生産・流通等は活力があると思う市民の割合	市民意識調査	-%	-	未把握
		38.2%	↑	
7. 新規就農者数	始良・伊佐地域振興局が把握した新規就農者数(N-1)	5人	0.00%	目標値には届かなかったが就農相談等を通じて前年度並みの新規就農者を確保できた。
		10人	↑	
9. 林業生産額	鹿児島県「市町村民所得推計報告」の産業別市内総生産(N-3)	1,095,000,000円	*****	伐期を迎えた森林が増え、木材需要量が増加したと思われる。
		1,071,000,000円	→	
8. 農業産出額(推計)	農林水産省「市町村別農業産出額(推計)」(N-2)	22,660,000,000円	*****	耕種の産出額は減少したが、畜産において肉用牛及び鶏(鶏卵・ブロイラー)の産出額が増加した。
		21,220,000,000円	→	
10. 水産業生産額	鹿児島県「市町村民所得推計報告」の産業別市内総生産(N-3)	340,000,000円	*****	目標値に対して、水産業の生産額が多きく上回った。
		140,000,000円	→	

施策としての改善方針

農林水産業の振興においては、農業者団体等に運営補助金を支出しており各農林水産物組織の振興に向けた研修等の補助を行っている。旧市町村にあった農業者団体に支出しており、これまでも団体の再編や補助金額の見直しなども行ってきた。農業者の高齢化等による廃業や離農が進み農業者団体の解散や新たな農業者団体が組織化されていることで、活動内容が類似した団体間で補助金交付の取扱いが異なるなど、公平性に欠ける状況となっている。令和7年度当初予算に向け、まずは、農政の所管する団体への補助金を見直し等を行った上で、他団体等の補助制度を構築する。

施策幹事課	関係課
農林水産部農政畜産課	農林水産部林務水産課 / 農林水産部耕地課 / 農業委員会事務局